

「防災あれば憂いなし」

当日編

事前
準備編

当日編

川の防災情報のご紹介

はじめに

川の防災情報とは、『行政からの発表』、『河川の状況』、『雨の状況』、『洪水予報等』などをリアルタイムで発信しているウェブサイトです。

『スマートフォン』
での閲覧も可能！

『川の防災情報』
で検索！



川の防災情報 検索

「川の防災情報」HOME画面 まずはこれから！川の情報3選

③ 現在、洪水予報等が発表されている都道府県を確認！

① レーダ雨量(XRAIN)
レーダ雨量計で観測した雨量情報。

② 水害リスクライン
洪水の危険度の高まりを、図上で概ね200mごと、両岸別に示した情報。

③ 洪水予報等
川の水位の状況や今後の見込みを伝える洪水予報。川の水位の状況を伝える水位到達情報。

④ ダム放流通知
ダムの放流に関するお知らせ。

⑤ 避難情報
市町村が発表する避難情報。開設避難所の情報。

⑥ 沼澤時の浸水範囲を調べる
洪水浸水想定区域図 大洪水で浸水するおそれがある区域。

⑦ 川の状況を調べる
観測所等の地図情報 全国の観測所の水位や画像、ダムの状況を表示。

⑧ ライブカメラ画像
現在の河川の状況を撮影したライブカメラ画像。

⑨ 雨の状況を調べる
レーダ雨量(XRAIN)
レーダ雨量計で観測した雨量情報。

⑩ 氷量観測所
氷量観測所 全国の観測所で計測された水量、及び降水量の推移。

⑪ 氷濱時の浸水範囲を調べる
氷濱時水想定区域図 大氷濱で浸水するおそれがある区域。

⑫ 水質・積雪・潮位を調べる
水質・温水 全国の観測所における水質や水温。

⑬ 積雪・潮位 全国の観測所における積雪深、海岸の潮位。

⑭ 過去の観測情報を調べる
氷水水質データベース
過去の観測雨量、水位、水害のランキングなどを表示。

①まず、雨の状況を調べる
レーダ雨量で観測した雨量や
雨量観測所で計測された
降水量を確認！

②次に、川の状況を調べる
全国の観測所の水位状況や
カメラ画像を確認！

③最後に、
行政からの発表を調べる
洪水予報等、ダム放流通知、
避難情報を確認！

河川の基準となる水位

河川の水位

警戒レベル



水防団待機水位

水防機関が河川状況に応じて直ちに出動できるよう待機・準備するための指標となる水位

氾濫注意水位

災害が発生する危険性のある水位のことと、水防機関が出動する目安となる水位

避難判断水位

市区町長の避難準備・高齢者等避難開始、避難に時間をする方の避難判断の目安となる水位

氾濫危険水位

氾濫等により重大な災害が発生するおそれのある水位
市区町長の避難指示、住民の避難判断の目安となる水位

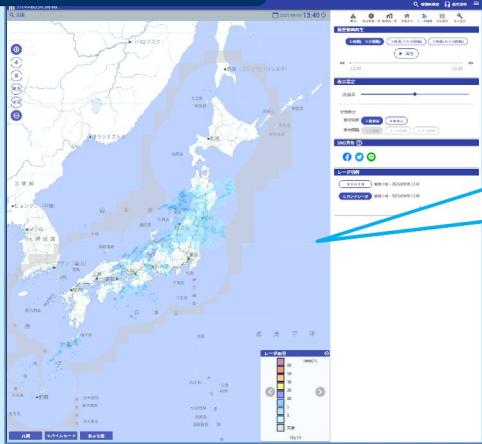
①まず、雨の状況を調べる

レーダー雨量で観測した雨量や雨量観測所で計測された降水量を確認！

(A) レーダー雨量

ここでは、レーダー雨量計で観測した 現在の雨の分布、これまでの雨の進路を確認することができます。

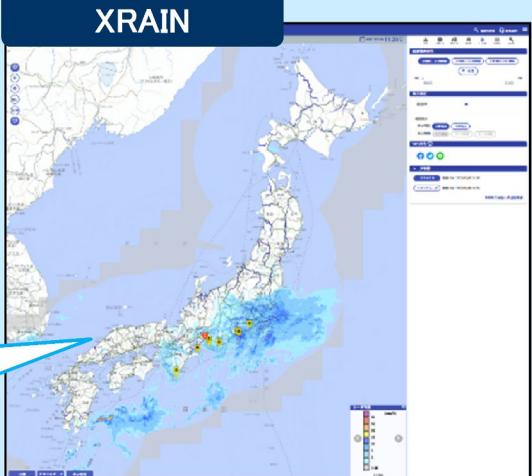
Cバンドレーダ



雨の状況を 知る

Cバンドレーダは、5分毎に観測され、台風など大きくてゆっくり動く雨を確認！

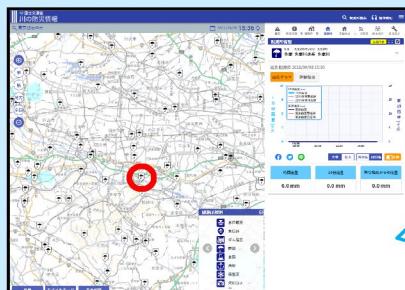
XRAIN



XRAINでは、1分毎に観測され、ゲリラ豪雨など狭くてスピードの速い雨を確認！

(B) 雨量観測所

ここでは、全国の観測所で計測された降水量及び降水量の推移を確認することができます。



雨量観測所で計測された時間雨量、10分雨量、降り始めからの雨量を確認！

時間雨量



10分毎雨量



他サイトのご紹介

他サイトの情報

ここでは、川の防災情報から他の防災関係サイトにアクセスすることができます。

防災用語ウェブサイト

水害や土砂災害に関する防災用語の意味や求められる行動、伝える際の留意点等。

川の水位情報（危機管理型水位計運用協議会）

全国の水位計と河川カメラ

浸水ナビ（国土地理院）

浸水想定区域の詳細な情報

ハザードマップポータルサイト（国土地理院）

全国の自治体のハザードマップ

防災情報（気象庁）

都道府県・市町村ごとの防災情報

河川環境データベース（国土技術政策総合研究所）

全国の河川・ダム湖の生物調査結果

災害・防災情報（国土交通省）

災害情報・災害への取組を提供

災害情報（消防庁）

所管する災害の情報を提供

都道府県の河川情報

各都道府県の河川情報へのリンク

統合災害情報システム（DiMAPS）（国土交通省）

いち早く収集した現場の災害情報、被害情報を地図上に表示するシステムを提供

②次に、川の状況を調べる

全国の観測所の水位状況やカメラ画像を確認！



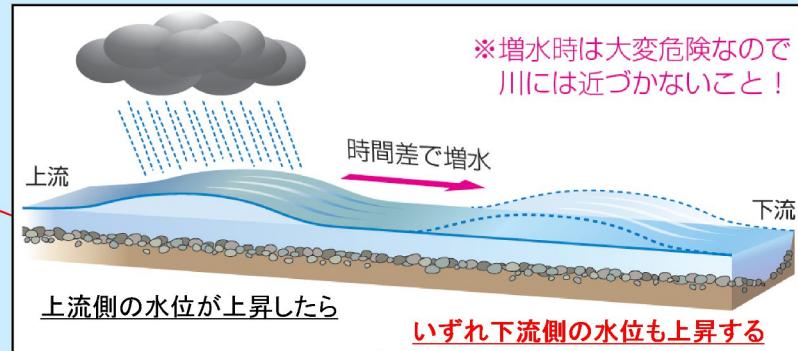
(A) 観測所の水位や画像・ライブカメラ画像

ここでは、全国の観測所等の水位、画像を確認することができます。近くの水位観測所の状況を確認し、上流側の水位観測所の水位を知ることが大切です。上流側の水位が上昇していたら、下流側の水位が時間の経過とともに上昇してくるからです。

川の水位で氾濫の危険性を知る



河川の仕組み



川の水位が上昇している時は「↑ 上昇中」、下降しているときは「↓ 下降中」、変化がない場合は「→ 変化なし」の表示が出てきます。

氾濫発生時は黒色、氾濫危険水位に達しているときは紫色、避難判断水位の時は赤色、氾濫注意水位の時は黄色で川の断面の色が変化します。

画像で川の状況を知る

カメラ画像では、河川沿いに設置されているカメラのライブ画像が見れます。現在の川の様子を確認してみましょう。また、現在の様子だけではなく、普段の様子も確認できます。



(B) 水害リスクライン

水害リスクラインでは、洪水の危険度の高まりを地図上で200mごと、両岸別に5段階で示した情報です。



川の水位によって、5段階(洪水の危険度レベル)に河川の色が変化します。

危険度 洪水の危険度レベル

- N 泛濫している可能性（警戒レベル5相当）
- N 泛濫危険水位超過相当（警戒レベル4相当）
- N 避難判断水位超過相当（警戒レベル3相当）
- N 泛濫注意水位超過（警戒レベル2相当）
- N 上記に達していない



③最後に、行政からの発表を調べる

洪水予報等、ダム放流通知、避難情報を確認！

(A) 洪水予報等

ここでは、全国の川の状況を瞬時に確認することができます。氾濫発生時は黒色、氾濫危険水位に達しているときは紫色、避難判断水位の時は赤色、氾濫注意水位の時は黄色で各エリアごとに色が変化します。

新機能

洪水予報発表時間から1時間ごとの6時間後の予測まで確認できるようになりました！

※予測水位は新たに洪水予報が発表されるまで更新されないため、実際と乖離が大きくなってしまっていることがあるので、ご注意ください。

(B) ダム放流通知

ここでは、全国のダムの放流に関するお知らせを瞬時に確認することができます。

ダム放流通知では、現在の発表状況を確認！

関連情報では、関連市町村を確認！

発表文では、ダム操作に関する連絡を確認！

(C) 避難情報

ここでは、全国の市町村が発表する避難情報、開設避難所の情報を瞬時に確認することができます。緊急安全確保発令時は黒色、避難指示発令時は紫色、高齢者等避難発令時は赤色で各エリアごとに色が変化します。

自治体の避難情報、対象地域、避難所情報(開設中の避難所)を確認！

マイ・タイムライン検討経緯

平成27年9月 関東・東北豪雨



約4300名が救助された

『逃げ遅れ』が課題

平成27年12月11日、国土交通省が


水防災意識社会再構築ビジョンを策定

住民自らが避難行動を起こす⇒『逃げ遅れゼロ』

ハザードマップでリスクを知り、
『マイ・タイムライン』の作成検討

Step1:「知る」

洪水ハザードマップを確認して、
地域水害のリスクをチェック

Step2:「気づく」

洪水時に得られる情報と、
防災行動を時間軸で考える
重要性を学ぶ

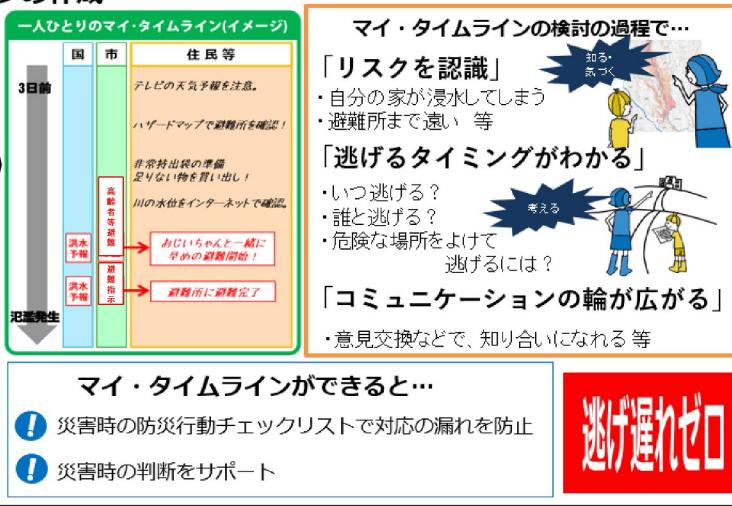
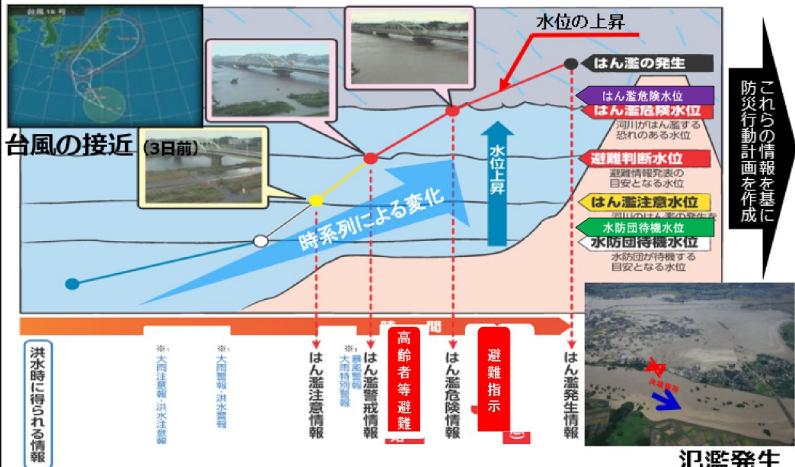
Step3:「考える」

洪水時の具体的な行動を
シミュレーションする

マイ・タイムラインとは

マイ・タイムラインとは、台風の接近等によって、河川水位が上昇する時に、住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画

●河川の水位変化と洪水時に得られる情報とマイ・タイムラインの作成



●作成の状況

※避難の実効性を高める「住民自らが手を動かす取組」が重要



ワークショップ形式

参加者相互の
意見交換により
理解が向上

小中学校の防災教育

専門家等による
理解を深める工夫
お天気キャスターによる
進行や解説

●参加者の主な意見等

※各地で取り組まれている事例からの抜粋

- ・避難するために、どのような情報が必要で、何を基準にして避難するか理解できた。
- ・避難先の選定が難しく感じた。
- ・情報入手や早めの行動、家族との話し合い、自助・共助・公助等勉強になった。
- ・個人での対応にも限界があり、地区での共助も必要だとわかった。

浸水リスクサイトのご紹介

地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）

浸水ナビは、浸水想定区域図を電子地図上に表示するシステムです。

お住まいの地域や事業所、学校、通勤・通学経路などで想定される浸水の恐れを知ることができます。

「浸水ナビ」HOME画面

The screenshot shows the homepage of the 'Point-by-point Flood Simulation Search System'. It features a large image of a flooded area, a map of the region, and a button labeled 'View the Point-by-point Flood Simulation Search System'.

The screenshot shows the '浸水ナビ' search results page. A red box highlights the 'Flood Simulation Graph Display' section, which contains a graph showing water level over time. Another red box highlights the 'Map' section, showing a detailed map of the Port North Area with various locations marked. A yellow arrow points from the 'Point-by-point Flood Simulation Search System' button on the left to the 'Map' section on the right.

地点別浸水シミュレーション検索システムから分かる情報

想定破堤点を知る

どの河川のどこが決壊（破堤）したら、自宅や会社などが浸水するのか知ることができます。

浸水想定を知る

堤防破堤後、どこが・いつ・どのくらい浸水するか、の変化をアニメーションやグラフで見ることができます。

河川の水位情報を知る

大雨の際に、どこの水位観測所の情報を見ておけば良いのか分ります。ホームページへもリンクしています。

浸水ナビ

知りたい場所の浸水リスクがわかる

浸水ナビ

検索



家屋倒壊等氾濫想定区域図

「家屋倒壊等氾濫想定区域図」とは、一定の条件下において、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域で、洪水時における屋内安全確保（垂直避難）の適否の判断目安となります。

The screenshot shows the 'Flood Risk Map' section of the Keihin River Basin Office website. It includes a map of the area, a legend for 'Flood Risk Map', and a list of links related to flooding and maps.

「家屋倒壊等氾濫想定区域図」には洪水氾濫流によるものと、河岸侵食による2種類がありますが、いずれも、**家にとどまる**と危険な区域になっています。

洪水時は屋内での避難（垂直避難）ではなく、避難所への立ち退き避難が必要になりますので、あらかじめハザードマップで避難所を確認しましょう。

- ・垂直避難とは、避難所に避難するのではなく家の2階以上に避難すること。
- ・水平避難とは、避難所等に移動し避難すること。

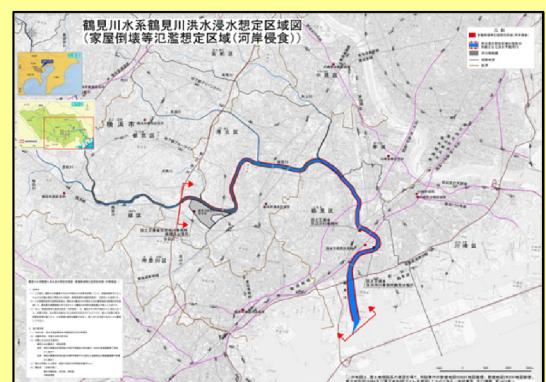
氾濫流

堤防の決壊等による洪水氾濫流により家屋倒壊のおそれがある区域



河岸浸食

洪水による河岸侵食により家屋倒壊のおそれがある区域



～京浜河川事務所ホームページにて～

浸水想定区域図・家屋倒壊等氾濫想定区域図を多摩川・鶴見川・相模川ごとに確認できます。

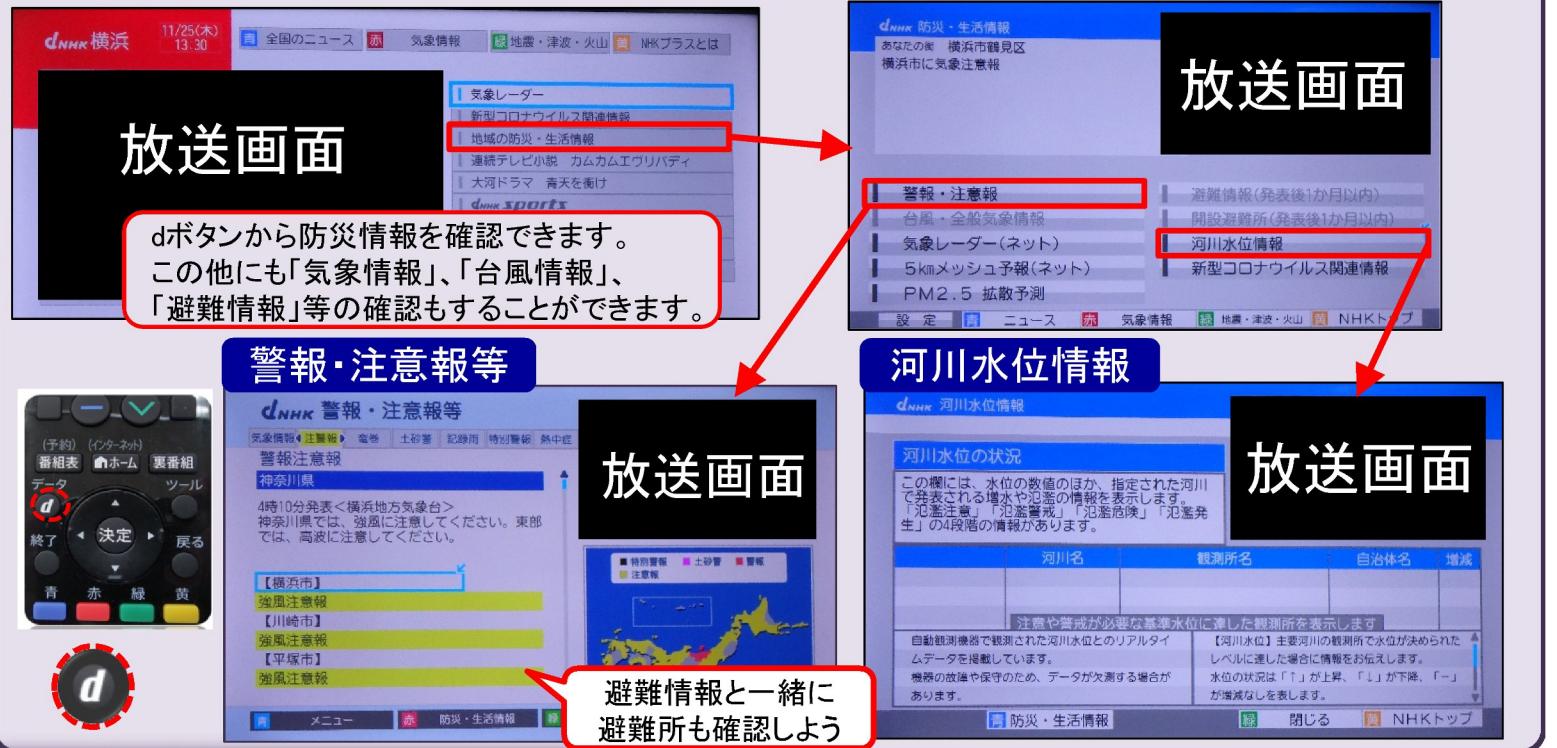
多摩川・鶴見川・相模川の家屋倒壊等氾濫想定区域図及び浸水想定区域図

https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index070.html

その他防災情報のご紹介

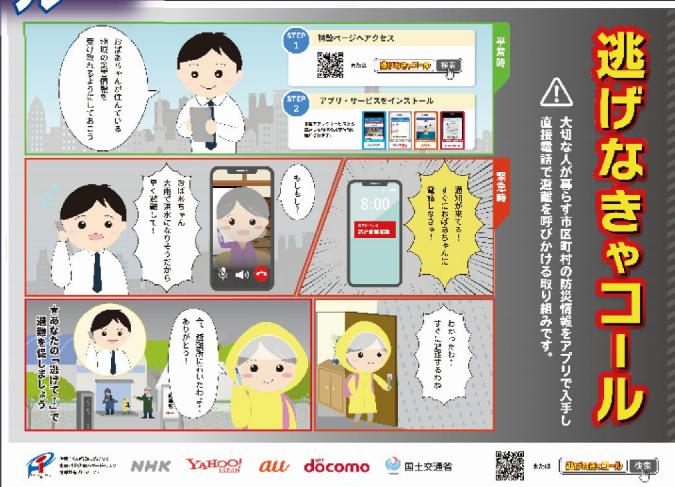
身近な防災情報がテレビから!! → dボタン (地上デジタルデータ放送)

地上デジタル放送において河川情報(水位・雨量)、台風情報、避難情報などの防災情報を「わかりやすく」、「簡単に」、「リアルタイムで」確認することができるボタンです。



逃げなきゃコール

「逃げなきゃコール」とは、離れた場所に暮らす高齢者等の家族に対し、付近の河川で氾濫や土砂災害の危険が差し迫った際、直接電話をかけて避難行動を呼びかける取り組みです。そのために、スマートフォンアプリやSMSの地域登録機能を活用し、プッシュ型で家族の住む場所の河川情報等を入手するものです。



緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、流域住民の主体的な避難を促進するため、平成29年5月1日から、京浜河川事務所が管理する多摩川・浅川・鶴見川・相模川において、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」を活用した洪水情報のプッシュ型配信を開始しました。（一部自治体を除く）

